

Shin Club 37

㈱辰 通信 Vol.37
2003年4月
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-24-4-7f
Phone: 03-3486-1570 Fax: 03-3486-1450
編集発行人: 松村典子

今月のトーク 「足し算と引き算」

「住まいを建て替えたい」という夢は誰もが持っています。しかし、住まいはお金を生みません。先月号でご紹介したKさんは、買い替えや借り入れなどあらゆる方法を模索し、ようやく賃貸マンションの一部を自宅にして賃料収入でローンを返済するという計画にたどり着きました。ところが、自宅の面積が大きくなり、どうしても収支が合いません。建築家やメーカーからも「これだ!」というプランは出てきませんでした。

弊社がKさんに会ったのは、そんなときでした。「まず成り立つ案から作りましょう」ということで、自宅を削り、銀行が納得するプランを作り上げました。それから賃貸面を維持し、コストをあげないで、Kさんの要望をかえする工夫をしていきました。仕上げを止めて、地下を作り、節約と贅沢を整理しました。

Kさんは、日展の日本画家です。制作を行うアトリエ、200号近いサイズの絵の数々を収納するスペースをまず確保する必要がありました。また見晴らしのよい上層階に自邸をと考えられましたが、「むしろ1階をアトリエにする方が体力的に今後は楽ではないか」という案に納得されました。地下室への絵の搬入も階段にスリット状の隙間を作ったため、スムーズに出し入れが出来るようになりました。

ご主人はコンクリート打ち放しを希望されていましたが、やはり美大出身の奥様は、「そのままではつまらない、どこかに、普通のマンションとは違うデザインを持ってきたい」と考えられ、門扉にこだわることになりました。門扉など金物は、注文すると、かなりの金額になります。そこで後輩に紹介されたのが、先月号でご紹介した若い鍛冶屋の豊口陽さんでした。「材料代だけもらえばいいで

すよ」というノリの豊口さんでしたが、全体のスケッチも気に入った奥様は、門扉だけでなく、ネームプレート、手摺のオブジェ、照明、郵便ポストも彼に作品を作ってもらうことにしました。そのために外壁の石にはこだわり、割肌の割石にしました。でも、駐車スペースは節約し、石畳用のタイルを貼りました。

この家は、お嬢様世帯との2世帯住宅でもあります。1階を2所帯にわけ、南庭を通して外から行き来することにしました。内壁に穴を開けることまではしなかったそうです。庭に面した、ダイニング・キッチンには、有名メーカーのシステムキッチンも検討しましたが、作り付けのものを家具屋さんに注文し、出来栄にも満足されています。特に、床は掃除がしやすいように、ビニール製のクッションフロアにしました。絵の制作作業もあり、お孫さんもまだ小さいため、神経質になることがないような素材に決めました。「大勢の人が集まる場所にしたい」という社交的な奥様は、ここに長いテーブルを据える予定です。

ダイニングの脇の和室は、少し高くなっており、掘りごたつが設けられています。床は畳ではなく、スモークコルクを貼り、しまいこんでいた和ダンスがここには納められます。この和室の障子も、本物ではありません。和紙ではなく、メンテナン不要の亚克力製にし、押入れにも同じものを使用しました。和室の脇の階段を下りると、絵の収納室とは別にもうひとつ地下室があります。ここは、大勢の来客を迎えたときの、多目的ルームとなります。オーディオ・テレビが備えられることになるそうです。

こうして、価格の高い本物と普及品を上手に選ぶ足し算と引き算を繰り返しながら、趣味やスタイルを重視した、楽しい家作りが出来ました。(豊口さんの作品づくりの様子を、別のシートに作成しました。ご覧ください。)



全景。コンクリート打ち放しの外壁。ベランダ部分はリシン吹きつけ。3階賃貸部分階段踊り場の手摺。2階エントランス部分の照明。洗面スペース。タオルウォーマーを設置。オーナー邸エントランス門扉。総重量300kg以上。エントランス脇の格子窓。賃貸部分への階段夜景。賃貸部分ダイニング・キッチンのスペース。天井はコンクリート打ち放し。

TOPICS

「イサミヤ第8ビル 引渡し」 (12月28日) 千代田区

派手な色彩の看板の店が立ち並び未広町のパソコン通りに、メタリックな事務所ビルが建ちました。オーナーは、1900年創業という老舗の看板屋さんです。イサミヤ通りとも呼ばれるこの通りで、8番目のビルとなりました。

構造: 鉄骨造、地上5階
用途: 店舗および事務所
設計: 有馬立郎
(株)計画意匠研究所



「シャンブレッテ・パ・ド・ドゥ・アネックス 引渡し」 (3月28日) 北区

外壁、室内ともに打ち放しの賃貸集合住宅(一部タイル)と、施主宅+ピアノ教室から成るマンションです。施主宅の一番目当たりのよいサンルームは、愛犬のためのスペースとなっています。アネックス(別館)という名のとおり、反対側に同様の外壁タイルの本館が建っています。

構造: RC造、地上3階
用途: 共同住宅
設計: 島村肇 ラグス設計



「K邸・villa Porta Bella 引渡し」 (4月1日) 杉並区

マンション名(ヴィラ・ポルタ・ベラ)はイタリア語で「美しい門の家」という意味です。夜、照明に明かりがともると、美しさがいっそう引き立ちます。

構造: RC造、地上3階、地下1階
用途: 共同住宅
設計: (株)辰



「Y邸 地鎮祭」 (4月5日) 川崎市麻生区

高台の閑静な住宅地に、八木教授設計の「離れ和室」のある住宅が始まります。

構造: RC造+S造、地上2階、地下1階
用途: 住宅
設計: 東工大八木幸二研究室
完成予定: 2003年9月



「ふたば調剤薬局 地鎮祭」 (4月10日) 品川区

待合室に、6m近い吹き抜けのスペースを設けるスタイリッシュなデザインとなっています。

構造: 鉄骨造、地上2階
用途: 店舗・事務所
設計: 玉田敦士 LDK(有)
完成予定: 2003年8月



「大倉山の家(H邸) 地鎮祭」 (4月11日) 横浜市

基本設計者のデザインに魅了された建主が弊社に実施設計を依頼されたこだわりの住宅が着工しました。

構造: RC造、地上2階、地下1階
用途: 住宅
設計: (株)辰
完成予定: 2003年11月



「スタジオ・エビス 控え室改修工事」 (4月1日) 渋谷区

恵比寿駅近くの「スタジオエビス」は、大小9つの写真スタジオを持つ、コンクリート打ち放しの見事な建物です。(設計: 鈴木恂建築研究所 http://www.suzuki.arch.waseda.ac.jp/2_msuzuki/2.html、構造設計: 佐々木睦朗構造計画研究所 1981年竣工) 大スタジオの大きさは、幅12m、奥行き20m、天井高は3階分の10m。ほかにも、天井のないスタジオや屋上のように囲みのないスタジオなどバリエーションが豊富です。今回弊社で、控え室の小規模改修工事をさせていただきました。

構造: SRC造一部RC造、地上9階、地下1階
用途: スタジオ
改修設計: (株)エーエムエス



INFORMATION

(株)辰 安全衛生協力会 安全大会 開催

4月11日、渋谷商工会館において(株)辰安全衛生協力会安全大会が開催されました。大会では、活動(事故)報告、会計報告などに加え、日頃の業務についての活発な質疑応答なども行いました。新年度の役員は、下記の通り承認されました。皆様1年間よろしくお願いいたします。

会長: 富岡陸男様(株式会社トミヨシ商会社長)
副会長: 金澤和夫様(株式会社協力電業社長)
監査: 大熊勝利様(株式会社大熊鉄筋社長)

